

## WHOPLUS データベースの概要

日外アソシエーツの人物情報源を横断検索できるデータベースです。特に「WHO」では、職業・活動分野、肩書き、出身地別、出身校別など、各人物へのアプローチ（＝検索項目）を豊富に用意しています。そのためサーチエンジンでは難しい、精度の高い検索が可能です。

### <WHOPLUS トップ画面>

The screenshot shows the WHOPLUS web interface in a Microsoft Internet Explorer browser window. The page title is 'WHOPLUS'. There are two main search buttons: '人物ファイル横断' (Cross-search of person files) and 'WHO'. Below these are two panels. The left panel, titled 'WHO (プロフィールと文献情報)', lists various sources like '人物レファレンス事典 (日本)', '人物レファレンス事典 (海外)', '事典 近代日本の先駆者', '海を越えた日本人名事典', '著書・著者情報', and '日外選定公式URL集'. It notes that full-text search and name search are available. The right panel, also titled 'WHO (プロフィールと文献情報)', notes that search results can be refined with conditions. Callout boxes provide additional information: one points to the '人物ファイル横断' button, stating it allows cross-searching contents; another points to the 'WHO' button, stating it searches only 'WHO' and offers various search conditions; a third points to the 'LOG OUT' link, stating it should be clicked when finished.

### WHO

プロフィールは週 2 回更新

ご本人へのアンケート調査をベースにした、もっとも基本的な人物プロフィール集。歴史上の人物から、現在活躍する人物まで約 32 万人を収録。

職業活動分野、肩書き、出身(生)地、出身大学などからも検索が可能な、“条件指定”画面をご用意。またその人物について書かれた記事・本の情報を閲覧できる“人物文献”も収録しています。

人物レファレンス事典 掲載事典名を検索	お探しの人物が、どの人物事典、百科事典、歴史事典等に、どんな見出しで載っているかを、略歴(活動年代、生没年、地域・国名、身分・肩書・職業および業績など人物の特定に最低限必要なプロフィール)と一緒に確認できる情報源です。
事典 近代日本の先駆者 歴史上の人物を検索	幕末から明治にかけての文明開化期に、日本人として初めて何かを発明、発売、設立、体験した人物など、近代日本のパイオニア 1,100 人のプロフィールを、くわしいエピソードとともにを紹介する情報源です。
海を越えた日本人名事典 歴史上の人物を検索	16 世紀から明治 20 年代頃までの留学生、使節団、漂流民、芸人、職人などあらゆる階層の渡航者、約 1,700 人のプロフィールを、くわしいエピソードとともに紹介する情報源です。
著書・著者情報	図書に掲載されている著者紹介を閲覧できます。プロフィールの内容は、該当図書が刊行された当時のものとなります。掲載図書の情報もいっしょに確認できます。(この情報はBOOKPLUSで検索した結果でも同じように表示されます)
日外選定公式URL集	WHO 制作スタッフにより選定された人物に関する URL 集です。

WHOPLUS は調査やビジネスに安心してご利用いただける情報源として、出版、マスコミ、研究機関、図書館、フリーランスの方などさまざまなお客様からご支持をいただいています。

WHO の人物プロフィール情報は原則としてご本人の許諾を得た情報を掲載しています。(2005 年 4 月以降個人情報保護法に対応)

## 「人物ファイル横断」 検索のしかた

1 「人物ファイル横断」をクリックします。

WHOを含む人物ファイルを横断検索します。

〔WHO〕ボタンをクリックすると、WHOのみを単独検索します（p.4 参照）



2 “人名見出しに「猪口邦子」を含む”という検索をしてみましょう。

「人名見出しを検索」をオンにし、ボックスに名前を入力します。

名前を入力したら、〔検索〕をクリックします。

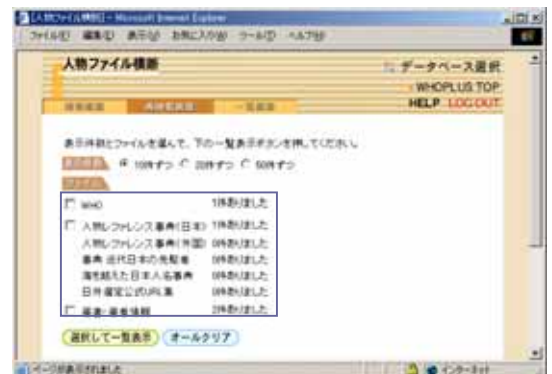
リストボックスで〔必ず含む〕または〔いずれかを含む〕を指定できます。



3 ヒットした件数がファイルごとに表示されます。

一覧情報を閲覧するには...

チェックボックスにチェックし〔選択して一覧表示〕をクリックします。



4

検索結果一覧を閲覧します。

目的の人物かどうかを確認しましょう。

詳細情報を閲覧するには...

人名をクリックするか、見たい人物にチェックして〔チェックしたものを表示〕をクリックします。

文献情報を閲覧するには...

人物文献、図書、記事・論文と書かれたリンクをクリックすると、文献情報が表示されます。(詳細は、p.8を参照してください)



実際に表示されるデータを見てみましょう (ブラウザが別が開きます)

WHO (プロフィール情報)

WHO	
人 名	猪口 邦子(いのちくこ)
職業・肩書	衆院議員(自民党比例・東京)・少子化・男女共同参画担当日本学術会議会員
元 職	国連軍縮会議日本政府代表部大使
生年月日	昭和27年5月3日
出生地	千葉県市川市
学 歴	上智大学外国語学部独語科(昭和60年) 早稲田大学大学院修了
学 位	政治学博士(早稲田大学)(昭和67年)
専攻分野	国際政治学・女性論
研究テーマ	冷戦終結過程の研究・周辺地域と世界システムに子供と国際政治
本人URL	<a href="http://web.sophia.ac.jp/~k-inocpc/">http://web.sophia.ac.jp/~k-inocpc/</a>
本人メールアドレス	(実際にはメールアドレスが表示されます)
経 歴	昭和37~42年ブラジル・サンパウロに住む。高校時代に米国・コンコルドに1年、大学卒業後は早稲田大学大学院に、59年から1年間はハーバード大学国際問題研究所客員研究員となるなど外国暮らしが長い。56年上智大学助教授となり、平成2年教授。14年4月大学を休職し、国連軍縮会議日本政府代表部大使に就任。15年議長。16年上智大学に復職。18年まで法学部教授を務めた。 17年9月自民党の公認を受け、衆院選比例東京ブロックから立候補、名簿1位で当選。10月当選初月ながら、第3次小泉改造内閣の少子化・男女共同参画担当相に抜擢される。同年夫の猪口孝(中央大学教授)と同時に第20期日本学術会議会員に選出され、初の夫婦同時会員となった。著書に「戦争と平和」「戦略的平和思考」「ポスト覇権システムと日本の選択」のほか、夫・猪口孝との共著「世界を読む」など
主な著書	「ポスト覇権システムと日本の選択」(昭和62年)、「戦争と平和」(平成1年)、「政治学のすすめ」(平成8年)、「戦略的平和思考」(平成16年)
賞 名	吉野作造賞(平成1年)「戦争と平和」 エイボン女性大賞(第25回)(平成15年)
所属学会・団体	日本政治学会 日本国際政治学会 日本平和学会 国際戦略問題研究所(ISS)
家族・親族	夫=猪口 孝(中央大学教授)
回答/作成年月	2006年3月
整理番号	215110

WHO (文献情報-図書)

WHO (文献情報-記事・論文)

WHO (文献情報-人物文献)

人物レファレンス事典

著書・著者情報

このほか...

- 「事典 近代日本の先駆者」
- 「海を越えた日本人名事典」
- 「日外選定公式 URL 集」

があります。



## 「WHO」 検索のしかた

- 1 [WHO] をクリックします。  
WHOだけを単独検索をします。

〔人物ファイル横断〕と書かれたボタンをクリックすると、WHOを含む横断検索をします。  
(p.2 参照)

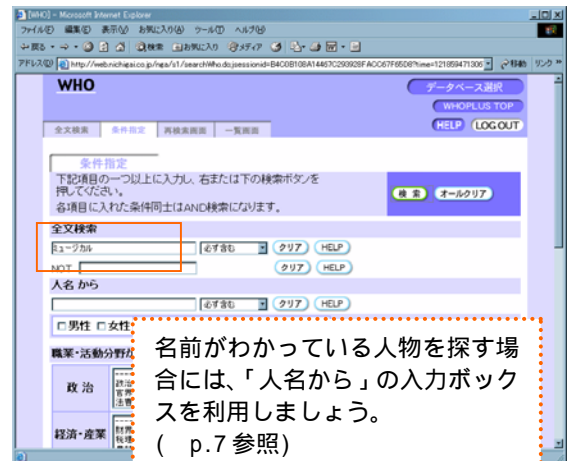


- 2 「ミュージカル」ということばでプロフィールを全文検索してみましょう。

全文検索の入力ボックスに“ミュージカル”と入力し、〔検索〕をクリックします。

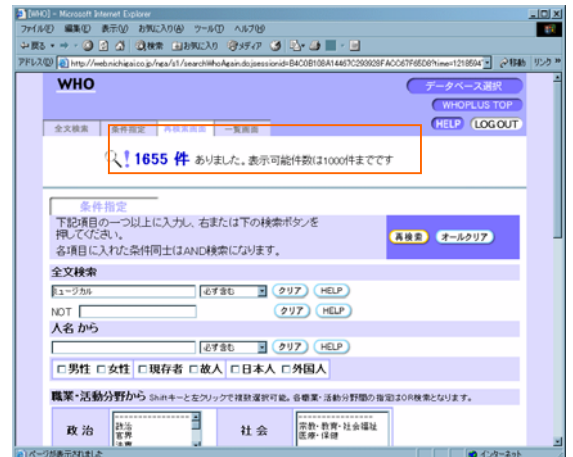
リストボックスで〔必ず含む〕または〔いずれかを含む〕を指定できます。

全文検索のみの画面を使う場合は  
「全文検索」タブをクリックしてください。



- 3 ヒットした件数が表示されます。

検索結果が多い場合は絞り込みましょう。

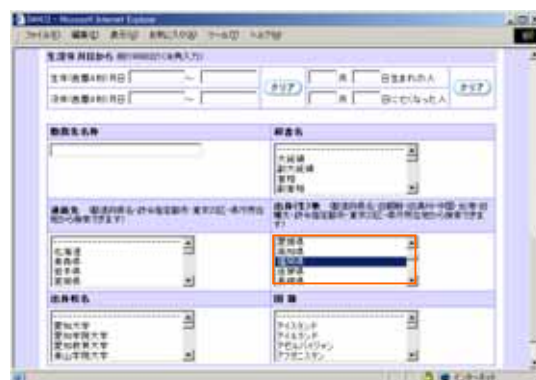
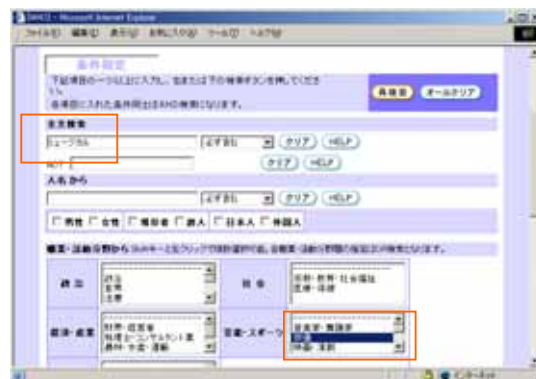


4 “ミュージカル”で全文検索した結果に、「福岡県出身の俳優・女優」という条件を追加しましょう。

「福岡県出身」という条件は  
“出身(生)地”で指定できます。

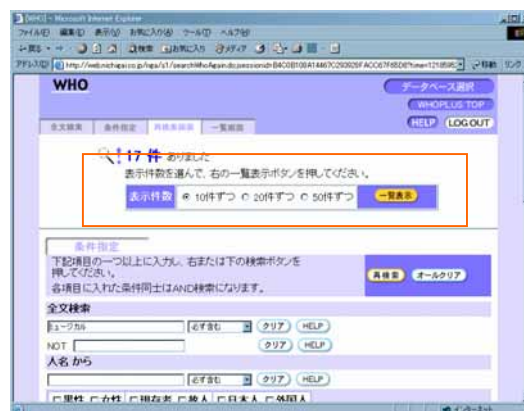
「職業が俳優」という条件は  
“職業・活動分野から”で指定できます。

上記の条件のほかにも、しぼりこみに便利な条件が用意されています。(p.7 参照)



5 ヒットした件数が表示されます。

一覧情報を閲覧するには・・・  
一度に表示する件数(10件・20件・50件)を指定し、[一覧表示]をクリックします。



6 検索結果一覧を閲覧します。

目的の人物かどうかを確認しましょう。

詳細情報を閲覧するには...  
人名をクリックするか、見たい人物にチェックして[チェックしたものを表示]をクリックします。

文献情報を閲覧するには...  
人物文献、図書、記事・論文と書かれたリンクをクリックすると、文献情報が表示されます。  
(詳細は、p.8を参照してください)



実際に表示されるデータを見てみましょう（ブラウザが別にひらきます）

WHO (プロフィール情報)

経歴情報	
人 名	黒木 唯くろぎ ひとみ
職業・肩書	女優
生年月日	昭和35年10月5日 血液型=A型
出生地	福岡県
連絡先	オフィス稲垣
連絡先住所	(実際には住所が表示されません)
連絡先電話	(実際には電話番号が表示されません)
本人URL	<a href="http://www.kurokhitominet/">http://www.kurokhitominet/</a>
経 歴	高校時代は演劇部に属し、「ベルサイユのばら」福岡公演を見たのがきっかけで宝塚音楽学校に入る。昭和56年4月入団、「宝塚春の舞台」で初舞台。1年目に大地真央の相手役に抜擢され、月組の娘役のトップとして「ガイズ&ドールズ」「愛限りなく情熱のハルセロナ」「I am What I am」「三都物語」などに出演。60年8月退団し、大阪新歌舞伎座「将軍」のヒロイン役で女優デビュー。61年映画「化身」に出演して注目され、NHK連続テレビ小説「都の風」で人気を得る。63年テレビ朝日「欽ちゃんのどこまで笑うの」では司会を務めた。平成9年映画「失楽園」でトップ女優の仲間入り。同年初の写真集「黒木唯」を刊行。11年には「日本レコード大賞」の司会を務めた。他の出演に、映画「花園の迷宮」「死線を越えて・賀川豊彦物語」「洪滞」「略奪愛」「破線のマリス」「仄暗い水の底から」「T.R.Y.」「阿修羅のごとく」「東京タワー」、テレビ「都会の森」「胸におぼえあり」「ジェラシー」「義務と演技」「透明人間」「天晴れ夜十郎」「新宿鮫」「愛しすぎなくてよかった」「リング〜最終章」「魔女の条件」「チーム「イマジジン」」「愛するためージカルマ」「夜の青空」の翻訳に「9」
賞 名	日本アカデミー マドモアゼル 報知映画賞 日刊スポーツ 日本アカデミー 日本映画批評 日本文芸大
回答/作成年月	2006年1月
整理番号	066445

WHO (文献情報-図書検索)

書名	著者	出版社	発行年
『政治のちから 野のメス』	黒木唯	文芸春秋	2005
『政治のちから 野のメス』	黒木唯	文芸春秋	2005
『政治のちから 野のメス』	黒木唯	文芸春秋	2005

WHO (文献情報-人物文獻)

順位	書名	著者	発行年
1	『政治のちから 野のメス』	黒木唯	2005
2	『政治のちから 野のメス』	黒木唯	2005
3	『政治のちから 野のメス』	黒木唯	2005

WHO (文献情報-記事・論文検索)

順位	書名	著者	発行年
1	『政治のちから 野のメス』	黒木唯	2005
2	『政治のちから 野のメス』	黒木唯	2005
3	『政治のちから 野のメス』	黒木唯	2005

## 「WHO」条件指定の活用ポイント

## 「WHO」条件指定の活用ポイント

これらの条件を組み合わせると効率よく人物を検索しましょう

指定できる条件	活用ポイント
全文検索	経歴情報として表示されるプロフィールの内容すべてから全文検索します。もれのない検索に。その人物と関わりのある人物（家族、交友関係、研究者など）も一緒に探せます。
人名検索	探したい人物の名前がわかっているときには、この検索を使いましょう。
チェックボックス ・男性/女性 ・現存者/故人 ・日本人/外国人	チェックボックスだけで、かんたんに指定できます。 原稿依頼や講演依頼などを行う場合には〔現存者〕にチェック、女性知事だけをリストアップする場合には〔女性〕をチェック、といった使い方ができます。
職業活動分野	WHO の収録人物を、5 分野 28 ジャンルに分けました。 あらかじめ「どのジャンルに属する人物か」を指定できるので、効率よくリストアップ作業を行えます。また複数ジャンルをまとめて指定することもできるなど、もっとも“使える”条件です。
生没年月日	生没年がキーとなる人物のグルーピングに最適です。 30 代の社長、今年還暦を迎える人、生誕 年・・・など、雑誌の企画やインタビュー対象の選定などに活用できます。
勤務先名	勤務先だけに的をしぼって効率よく検索できます。 企業名や組織名を入力して検索できます。また正式名称と略称や、銀行などの企業名の変遷にも対応しているので、もれなく検索することができる便利な検索項目です。
肩書名	世の中に存在する多種多様な肩書きから人物を検索できます。 大臣、知事、学長、教授といった一般的な肩書きから、編集長、枢機卿、家元といった肩書きまでカバーしています。
連絡先所在地 ・都道府県 ・政令指定都市 ・東京 23 区 ・県庁所在地	連絡先住所で人物を探ることができます。 東京在住の作家、北海道在住の漫画家といった人物の絞込みに最適です。 連絡先の公開を許諾している人物のみが検索対象となります
出身（生）地 ・都道府県 ・政令指定都市 ・東京 23 区 ・県庁所在地 旧朝鮮、旧満州・中国・台湾・ 旧樺太も指定可能	その土地にゆかりのある人物を探せます。 北海道生まれの人、仙台出身のスポーツ選手など、その土地にゆかりのある人物を探ることができます。地域性のあるイベントのゲストの選定や原稿依頼にも最適です。
出身校名	WHO での収録数が多い、約 300 校をリストから選択して検索できます。 「東京大学出身の社長」「慶應大学出身のカメラマン」といった探し方に最適です。
国籍	WHO での収録数が多い約 130 か国をリストから選択して検索できます。 7 万人以上の外国人を収録する WHO には、必須の項目です。

## 文献情報の閲覧方法

「WHO」には、文献情報が3種類（人物文献、図書、記事・論文）あります。

文献情報へのリンクは（1）一覧画面 または（2）経歴情報に表示されます。

- 各文献リンクをクリックすると、刊行年月の新しいものから10件ずつ文献情報が表示されます。
- 「人物ファイル横断」でWHOがヒットした場合にも、同じように文献リンクが表示されます。

### （1）一覧画面



クリックすると人物文献が表示されます。

その人について書かれた本や新聞記事、雑誌記事の情報が表示されます。

クリックすると文献データベースで検索した結果が表示されます。

〔図書を検索〕をクリックで、その人が書いた本の情報、〔記事・論文を検索〕で、その人が書いた雑誌記事の情報が表示されます。

### （2）経歴情報



クリックすると文献データベースで検索した結果が表示されます。

〔図書を検索〕をクリックで、その人が書いた本の情報、〔記事・論文を検索〕で、その人が書いた雑誌記事の情報が表示されます。

クリックすると人物文献が表示されます。

その人について書かれた本や新聞記事、雑誌記事の情報が表示されます。

### ご注意ください~文献情報リンクのご利用について

- 「図書を検索」「記事・論文を検索」をクリックして表示される文献情報は、一覧や経歴に表示された人名を文献データベースで著名者検索した結果にすぎません。そのため同名異人の文献情報が含まれる場合があります。
- また、文献データベースをキーワードや刊行年月から検索したり、ヒット件数などを確認したうえで、検索結果をご覧になりたい場合には、BOOKPLUS、MAGAZINEPLUSをご利用ください。

文献情報 **人物文献** (その人について書かれた記事や本の情報) を表示してみましょう

該当人物が活字媒体 (図書、雑誌、新聞) において、どのような評価をされてきたか、またどのような立場で発言を行ってきたかなどを、時系列で確認できます。



- 一覧画面または経歴情報画面で、〔人物文献〕リンクをクリックします。
- その人物に人物文献がない場合には、このリンクは表示されません。
- その人物について書かれた図書、記事・論文情報が表示されます。

媒体ごとに識別記号がついています。  
 ●(青) = 本 ●(緑) = 雑誌 ●(赤) = 新聞

文献情報 **その人が書いた本の情報** を表示してみましょう



- 一覧画面または経歴情報画面で、〔図書〕リンクをクリックします。
- 人名を“著者名”として、BOOKPLUS (図書内容情報データベース) を検索した結果が表示されます。

人名をキーワードにしたり、その他の条件をかけた検索をする場合は BOOKPLUS を利用しましょう。

文献情報 **その人が書いた記事・論文の情報** を表示してみましょう



- 一覧画面または経歴情報画面で、〔記事・論文〕リンクをクリックします。
- 人名を“著者名”として、MAGAZINEPLUS (記事・論文データベース) を検索した結果が表示されます。

人名をキーワードにしたり、その他の条件をかけた検索をする場合は MAGAZINEPLUS を利用しましょう。

## ご利用上の注意点〔自動ログアウト機能について・IP アドレス認証設定の場合〕

“ 検索などの操作をしていない状態 ” が 10 分間続くと、自動的にログアウトします。

閲覧のみが 10 分間続いた場合も自動ログアウトしてしまいますので、ご利用中に自動ログアウトした場合は、再度ログインしてください。

ブラウザの強制終了ボタン  を押した場合、画面は閉じててもログインしたままの状態が続くことになります。この場合も 10 分間経過すると自動ログアウトします。

を押した直後にログインして “ 同時にアクセスできる人数を越えています ” というメッセージが出た場合は、10 分間待ってからログインしてください。

\*本資料中に記載されているデータベースの名称、収録件数、画面等は、2007 年 12 月現在のものです。

最新の情報は日外アソシエーツの HP をご覧ください。 <http://www.nichigai.co.jp/database/index.html>  
日外アソシエーツ株式会社